

第5章 内閣府青年国際交流事業への意見

内閣府国際交流事業に関する意見について自由記述欄を設けたところ、合計 29 件の意見が寄せられた。意見の内容は多岐に渡るが、事業の継続を要望するものが 8 件、と特に多く寄せられた。

継続	
今後も地域に於いて核となり活動している若手リーダーに対し、広く世界の取り組みの学習の場や、国内での横のつながりの場として、活動が継続されることを切に望みます。	青少年 (H22)
コアリーダー育成プログラムでは大変多くのことを学ばせて頂きました。他国の取り組みと比較することで、日本の現状や、自団体の立ち位置また、方向性における選択肢などが見えるようになりました。また、青少年分野におけるあらゆる関係者と接点をもつことができましたのも、とてもいい機会となりました。今後もこのような取り組みを継続的に行って行ってほしいです。	青少年 (H23)
コアリーダー育成プログラムは、実践的でよいと思いますので、継続して欲しいと思います。	高齢者 (H23)
海外派遣で、北欧文化に触れるとともに、福祉の権利は、当事者の努力や働きかけによって、獲得、維持、拡大されることを学びました。また、フォーラムでは、人材育成のあり方について、ドイツ、イギリス、フィンランドのシステムや、若者の考えを知ることができ、現職での人材育成の参考にしています。職場や国内の考えにとどまらず、海外を視野に入れた思考を展開できるようになったのは、この事業のおかげです。今後も、継続いただければ強く願います。	障害者 (H20)
今後も事業を継続し、参加経験を持つ人材を増やして欲しい。	青少年 (H22)
今後も若い専門職が学べる事業を継続してください。	障害者 (H24)
非常に貴重な経験をさせていただきました。今後も引き続き、多くの青年がこの経験を共有できることを願っております。よろしくお願いいたします。	高齢者 (H24)
非常に有意義な事業だと感じるので、ぜひ継続と更なる広報等により事業に対する国民の理解と認知度を上げてほしいと思います。また、自己負担をしても事業に参加する価値はあるものの、青少年分野(で生計を立てている人)では年収 200 万円以下という方も少なくないので、これ以上は自己負担を増やさないようにお願いしたいです。意欲と覚悟さえあれば収入に関係なく誰でも参加できるようにせめて現状を維持してほしいです。特に既婚者で子どもがいると青少年分野での状況は厳しいです。	青少年 (H24)
意義	
コアリーダー育成事業に参加した。学んだことや得たものは大きかった。見聞きしたことも大きかったが、派遣準備～派遣後に主体的に行動したことは自身の成長につながった。 このアンケートにも質問項目があるが、具体的な事後活動を行うのが難しいところ。私は機会があれば体験を発表したり、地域や IYEO のいくつかの活動に参加するようになったが、自分で事業を作るところまではしていない。自分でゼロから作るのには初心者にはハードルが高いので、まずは活動場所があればありがたい(甘えであるが)。個人的事情で現在各種活動を休止しているが、時期が来たら再チャレンジしていきたい。	障害者 (H21)
貴重な経験の機会を与您いただきありがとうございました。派遣での経験は当時は、予想もしていなかったようないくつかのチャンスにつながっております。帰国後、学会発表や学会での交流集会の企画をし、ご参加いただいた方々からの肯定的なフィードバックをいただいたことは、大きな自信につながりました。最近、内閣府の事業に参加したことそのこと自体が人物評価の要因となっているようで、学会のパネリストの機会を頂いたり、研究助成金の獲得など活動の幅が大きく拡大しました。現在も、学会の海外研修の申請を行っておりますが、所属の長の推薦文には、本事業への参加に関する一文がありました。現在は、臨床試験に携わる仕事をしておりますが、医師の臨床研究を倫理的側面から審査する外部委員として、コア事業の一年後輩の方(青少年分野)にお願いするなど、互いの分野の枠を越えて、ネットワークがあるからこそ、できる社会貢献を地道に続けております。また、自身への業務や社会活動の際にも、派遣時また仲間から得た幅広い視点と物事への捉え方、関わり方は、十分に生きており、患者さんへの全人的な支援のみならず支援者支援、多職種連携などに重点を置き活動しております。こうした経験を広く、多くの方に知ってほしい、参加して欲しいと紹介しております。本プログラムの、ますますの発展をお祈りしております。	高齢者 (H21)

給与水準が低く、自由のきかない働き方をしている、三分野の青年が、このような真に実のある研修に参加できる機会は、日本のきわめて優れた施策の賜物・諸先輩方の努力の結実であり、非常に感謝しています。特に、より保守的な田舎で働く青年にとっては、内閣府事業への参加は、今後活躍する武器となり、自分をリーダーシップを発揮できる存在に変える、千載一遇のチャンスです。地域福祉において、すぐ明日に結果を出せるものではないですが、少しずつ明日を変える存在になりたいと日々を送っています。	高齢者 (H24)
継続して事業を行なうことで日本人はもとより海外の参加者同士のネットワークも構築されてきており、海外で新しい事後活動が行われる可能もあると期待している。近年既派遣者による事後活動は多岐に渡って行われており、成果の一端を表していると感じる。	高齢者 (H22)
私はこの事業を通じて、異文化で生活してきた人間同士が分かり合おうとする際の作法について、初めて学ぶことができました。それは、初めてであった人間同士が、専門領域にかかわる目標や課題に向けて限られた時間の中取り組もうとする事業計画があつてこそできたことでした。そしてその体験は、今までの生活の中で自分が「分かってくれるよね?」と周りの方々に甘えてきたことを知ることに裏返してした。自分の生活を見つめなおし、人とかわかることを仕事にする意味を明確化するきっかけとなった貴重な体験をさせていただけたことに、心から感謝しております。	障害者 (H22)
自分の人生にとって大きな経験となりました。今後も関わっていきたく思いますし、多くの若い方に同じような経験をさせていただきたいとします。	高齢者 (H22)
内閣府事業の青年社会活動コアリーダー育成プログラムに参加したことで、自分の中での社会活動に対するモチベーションが非常に上がり、職場などで学んだリーダーシップ法を活用しているので非常に有意義な事業だと思う。	高齢者 (H24)
本当に素晴らしい体験をさせて頂きました。その時だけでなく、事後活動や、日本中、世界中にネットワークができ、素晴らしい事業だと思います。	障害者 (H23)
事業改善の提案、その他	
Facebook のサイトも作成してほしい。	障害者 (H22)
この研修はとてもよい物であると参加してよく分かります。 しかし、自分がいる地域では...市自体が興味が薄い気がします。 個人で何かするのは、はっきり言って難しいです。せっかく学んだことも宝のもち腐れになりやすい気がします。これは、参加者もどうしたらよいか考えるべきですが、もう少し大きい援助があるともっとやりやすいのだと思います。日本は、海外とちがって色々後ろ盾がないとやり辛い所があると思います。	障害者 (H21)
国際的な交流事業はもちろんですが、国内の青年交流事業も企画検討していただきたいとします。国内でのネットワークを作りつつ、世界に飛び出すという形が非常に理想です。時間の制約があるかもしれませんが、私たち既参加者が経験したような派遣決定からオリンピックセンターに集い、派遣団の団結研修を得て海外に飛び出すというこの過程は、泣き笑い、喧嘩もし、もっと団結と友情を深めれるよう長い時間をかけてよいと思います。	青少年 (H21)
当法人からは、招聘プログラム、派遣プログラムの参加者、運営委員、企画委員を定期的に出しています。特に、気になっていることは、招聘プログラムの実施時期が、今年年度末になったことです。時期的に余裕がないので、送り出すのも大変です。できれば、以前と同様年明けに実施して欲しいです。また、派遣プログラムについては、既参加者も、成果等に応じて、数回参加できるようにしてもらえるとありがたいです。	障害者 (H21)
内閣府事業に参加させて頂いたことで多くの学びや出会いがありました。残念なのが、私たちも事後活動等積極的に取り組んではいるものの、縦と横のつながりがほとんどなく、同じ年度の団員との交流が中心になってしまっていることです。交流の場が増えたとさらなる発展の可能性を感じるように感じています。	障害者 (H23)
派遣後、5年間受入に関わってきましたが、受入が終わると少し疎遠になった気がします。 今後はNPOフォーラムなどにも積極的に参加したいとします。	高齢者 (H20)
福祉職員の派遣費用の個人負担額を出来るだけ少なくしていただくと助かるとします。	高齢者 (H24)

<p>とても素晴らしい事業だと思います。より多くの方に参加の機会を検討していただくために広報活動のより一層の充実が求められていると思います。私もできる限り広報を頑張りたいです。よろしくお願いいたします。</p>	<p>障害者 (H24)</p>
<p>内閣府事業について広く周知するために、新聞やTV等の取材を積極的に受け入れるべき。また、NPO マネジメントフォーラムのように、参加青年が活発に意見交換する場を開催するといいい。</p>	<p>青少年 (H21)</p>
<p>本事業に参加させていただいたことにより、国内での活動が主だった自身の団体の活動がグローバルに広がっていています。まさに、本事業をきっかけとして、次々とチャンスが増え、自分自身のキャリアUP はもちろんのこと、活動そのものがレベルUP しています。このようなチャンスをたくさんの若者たちに広げていくことができれば、国内外問わず、素晴らしい活動家が増えるのではないかと感じています。その一方で、この事業に本来参加すべき若者が、参加できていないように感じています。募集に関しては、工夫が必要だと思います。特にNPO 関係者で本事業参加者が少ないように思います。NPO 中間支援組織等への働きかけで、参加者を推薦してもらうなどの方法により、参加者のレベルを向上することも必要だと思います。参加後、介護施設で普通に一般職員として働いているのでは、国の予算を使っただけの費用対効果が合わないと感じます。もっと参加者をリーダー層に限定する必要があるのではと感じます。</p>	<p>高齢者 (H21)</p>
<p>コア事業のOBとして、もっと他事業のOB に擦れないような活動が必要だと思っています。</p>	<p>障害者 (H22)</p>
<p>既参加者対象のステップアップのための海外派遣事業をお願いしたいです。</p>	<p>高齢者 (H24)</p>